

レジ袋有料化への対応策を業界として検討

—— 2005年夏に政府が普及を呼びかけた夏の軽装化「COOL BIZ(クールビズ)」についてはいかがですか。

佐々木 ユニーでは一足早く前年の2004年から実施しています。6月から9月までノーネクタイですから、28度の温度設定で快適に過ごせますよ。

—— 愛・地球博(愛知万博)では6月5日の環境の日にちなんだ環境省が企画した「COOL BIZ」のファッションショーにモデルとして登場されました。

佐々木 登場した財界のみなさんは環境問題への関心が高く、勉強になりました。モデルは初体験でしたが、君たちも登場してくれたので心強かったですよ。

—— 光栄です(笑)。さて、佐々木社長は2005年5月20日付でチェーンストア協会会長に就任されました。業界としては環境問題に今後どう取り組んでいくのでしょうか。

佐々木 私ども小売業はお客さまにとって身近な存在であるだけに、環境問題に積極的に取り組んで環境対策の重要性を多くのお客さまに理解していただく役割を担っているともいえます。そこで、環境に配慮したエコ商品を提供したり、食品トレーやアルミ缶、牛乳パックを回収したり、ノーレジ袋運動を行うなど、お客さ

まと一緒に環境対策を実践する方策をこれからも打ち出していきます。また店頭ポスターやインターネットのホームページなどで環境問題に関する情報を提供するサービスも展開していきます。もちろん、営業中のエネルギー消費を節約するなど、事業者として実践すべきことは実践します。

2006年度の見直しが検討されている容器包装リサイクル法のレジ袋の扱いについて、もし、法律で「無料配布の禁止」が決められたら、環境保護基金のような目に見える形で活用できないかなどを検討したいと思います。

—— 年間300億枚も流通しているといわれるレジ袋の使用を控えることができれば、プラスチックごみの減量化につながりますし、石油という限りある天然資源の利用抑制にもなりますね。

佐々木 そうです。2004年9月1日、ユニーの全従業員にマイバッグを渡したのも、まずは自分たちからレジ袋の使用を控えるべきだと考えたからです。

—— まだまだ見直すべき点は見つかりそうですね。私たちが担当するインターネットによる無店舗販売も、環境問題の解決という側面から検討を重ねていきたいと思っています。今日はありがとうございました。



営業本部 e-ショッピングプロジェクト
マネジャー
山田陽一郎



営業本部 e-ショッピングプロジェクト
マネジャー
寺渉夫

6月5日の環境の日、愛・地球博で開催された環境省企画の「COOL BIZ」ファッションショーに、ユニーからも社長以下3名がモデルとして参加しました。



Topics



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

2005年2月、地球温暖化を解決するために世界が協力して定めた京都議定書が発効されました。日本が世界に約束した温室効果ガスの排出量削減目標は1990年比でマイナス6%。ところが、2002年度の比較で産業界からの排出量は1.7%減りましたが、家庭用は28.8%も増えるなど、目標達成は容易ではありません。そこで環境省はみんなで力を合わせてマイナス6%を実現しようと、国民参加型プロジェクト「チ

小さな力を合わせて大きな力に「チーム・マイナス6%」

ーム・マイナス6%」を立ち上げました。

設定されたアクションプランは「冷房は28度に設定しよう」「蛇口はこまめにしめよう」「アイドリングをなくそう」「エコ製品を選んで買おう」「過剰包装を断ろう」「コンセントからこまめに抜こう」の6つです。

参加者にはチームナンバーが発行されます。ちなみに1番は小泉総理。あなたも参加してみませんか？